

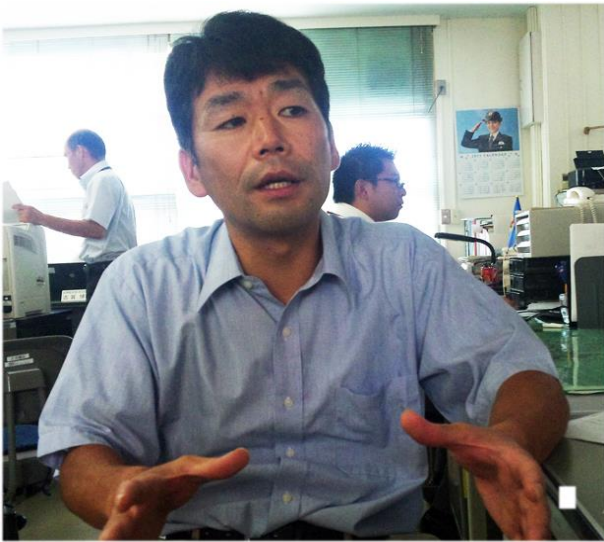
### 3.11 日立市 震度6強 MCA無線のサービスエリアを 最大限活用して 災害に備える

#### 【ユーザープロフィール】

日立市様は北関東平野、茨城県北端に位置する都市で「日立」の名称は、水戸藩二代藩主・徳川光圀が日立地方を訪れたときに「日の立ち昇るところ領内一」という故事に由来しています。

アナログ地域防災無線からデジタルに更改される際に、低コスト「デジタルMCA無線 mcAccess e」を導入されました。東日本大震災でMCA無線を有効的に活用されましたので、生活安全課 宮田様にお話を伺いました。

#### ■ MCA無線を導入されたばかりの震災で、ご苦労があったと思います。初動対応はどうされましたか？



平成23年2月に導入し半固定型の設置工事が3台分残っていて、3月11日15時に完了する予定でしたが、直前に地震が発生したのです。

ちょうど私は、市庁舎の中にいまして荷物を降ろしていたときに揺れはじめ、かなり長く続いたのでとても恐ろしかったです。津波警報が出されたので、すぐに高台に避難するようにと、防災無線の放送を1時間以上続けました。

日立市は震度6強を観測。発災後から、市内全域で停電が続いていたため、災害対策本部は汎用型発電機がある消防本部に設置されました。

水道、通信等ライフラインが全滅、交通渋滞もひどかったです。特に初日は情報が少なく、全体像を把握するのに苦労しました。使える連絡手段はMCA無線だけ、市内の被災状況を災害対策本部へ報告するときや避難所と連絡は、MCA無線を使用しました。



日立市役所

#### ■ MCA無線の通信状況はいかがでしたか

通信状況は、非常に良かったです。今回の震災対応では、MCA無線が非常に役にたったと実感しています。これほど無線が頼りになると思いませんでした。

災害対策本部で様々な情報を把握できるように、あらかじめグループ設定をしておいたが良かったです。とてもスムーズに指示が出せました。非常にクリアな音声で避難所や施設との通信も明瞭でした。

また無線機の使い方研修をする余裕はまったくない状況で、はじめて無線機を触る者も、私も含めて全員がぶっつけ本番でした。ボタンを押して話すだけですが、通話のタイミングなど慣れないうちは多少戸惑いました。無事に使いこなせました。

#### ■ MCA無線のサービスエリア圏外となる山間部地域との連絡は、どうされたのでしょうか

MCAのサービスエリアが圏外になる山間部は、衛星電話で対応することにしていましたが、納品前に地震が発生したので使えませんでした。ライフラインが寸断された状態で、災害対策本部と連絡できる通信手段は、何もありません。とにかく現地に早く行くだけでした。山間部の被害情報は、あとからわかったことの方が多いです。MCA無線が使えると使えないのでは大違いです。

## ■ デジタルMCA無線を導入した決め手を教えてください。

導入コストが安くすむことです。アナログ地域防災無線から更改するのにあたり、電波伝搬シミュレーションを実施したところ、自前で基地局を設置しても、十分なサービスエリアが確保できないことがわかりました。

MCA無線なら、設備投資費用がかかりませんので、それが一番の決め手でした。

日立市北部は、MCA無線のサービスエリアになっていないので、今後はエリアの拡大をお願いしたいです。また、いわき中継局（\*1）の電波しかとれない地域がありネットワーク利用（\*2）契約をしている無線機と関東ワイドエリア利用（\*3）契約の無線機が混在しています。全ての無線機でネットワーク利用契約を付加したいところですが、ランニングコストを抑えるため、限られた台数しか契約できないのが現状です。

## ■ 避難住民1万人・避難所は最大87箇所開設。 地域を支える自主防災組織『コミュニティ』について教えてください。

災害時の初動体制はコミュニティが自主的な対応をしてくれました。コミュニティとは、23ある学区地区それぞれの地域の特性を活かしながら、住民と一緒に特色あるまちづくりを進めている組織です。

市の施設「交流センター」は学区ごとにありコミュニティに運営を委託しています。災害時の一次避難場所となっている交流センターには、MCA無線を配備しているので、震災時には被害状況・避難者の数・必要物資などさまざまな連絡を取り合いました。コミュニティには炊き出しから避難所の運営など非常に助かりました。

コミュニティは、物資の情報は本部で把握できていたので、物資到着予定の問合せに対し、すぐ回答ができたのは、MCA無線のおかげだと考えています。避難場所から災害対策本部に入る連絡は、『物資が足りない』ばかりでした。

市では県内外のスーパーと災害協定（物資協定）を結んでいます。市内県内、福島県のスーパーも被害を受けており、茨城県よりさらにひどい状態でした。群馬県や土浦市のスーパーに物資を発注しましたが何千個のおにぎりを発注しても、交通網が麻痺し6～7時間かかりましたね。

太平洋沿岸地域は津波被害が大きく、避難してくる住民がどんどん増えて最終的に避難所開設87箇所、避難住民は1万3千人を超えました。これは、数日経過してからわかったことです。

## ■ 震災後の教訓として

職員からMCA無線機の使い方講習をきちんと聞きたい、という要望が出ています。正式に運用する前に震災にあいましたので、見様見真似で使えたとはいっても、きちんと訓練をする予定です。また、平成23年度中に避難所となる小中学校にMCA無線を配備することが決まりました。学校は、無線を使用する場所が職員室や体育館、校庭と様々なので利便性の高い携帯型MCAを配備するよう計画しているところです。

- \* 1 いわき中継局 福島県いわき市に設置されている東北センター管轄の中継局を指す。
- \* 2 ネットワーク利用 基本利用に付加し全国エリアの移動局と個別通信が出来る付加利用種別の名称。
- \* 3 ワイドエリア利用 基本利用種別の名称。



生活安全課に配備されているMCA無線